

シーンⅢ－6 みやぎラムサールトライアングル魅力発信事業

事業目的

ラムサール条約の湿地登録から伊豆沼・内沼は30年、蕪栗沼・周辺水田は10年が経過する平成27年度において、条約の基本理念である「湿地の賢明な利用」について普及啓発を図り、地域の人々との関わりを一層深めるための取組を行います。

事業効果

CO2削減効果	—
その他	3湿地への来訪者数 54千人/年

事業内容

1 散策・周遊ルート環境整備

- 散策・周遊ルート環境整備検討会
- みやぎラムトラの小道の環境整備
- みやぎラムサールトライアングルおもてなしマップ作成

2 みやぎラムサールトライアングル魅力再発見シンポジウム

- ラムサール条約と地域の関わりに関する基調講演
- リニューアルしたサンクチュアリセンターを活用したワークショップ

※条約指定「伊豆沼・内沼」、「蕪栗沼・周辺水田」、「化女沼」の豊かな湿地一帯を、「ラムサールトライアングル」と名付け、今後の多様な取組連携を目指すものです。



現状



利用されることが無く、沼の周辺には荒地がみられる。

税導入後のイメージ



沼の周辺を整備することで、沼と人々が関わりやすくなり、「賢明な利用」に参加する人が増える。